

報告書抄録

ふりがな	まつぎひろたいせき-だい2じちょうき- きたむらはったんちいせき えんぎ1ごういせき あろうづぼんだいせき ごうさくらいほりいせき-だい4じちょうき-				
書名	松木広田遺跡-第2次調査- 喜田村八反地遺跡 延喜1号遺跡 有津番田遺跡 郷桜井堀遺跡-第4次調査-				
副書名					
巻次					
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書				
シリーズ番号	第95集				
編集者名	田坂嘉則 白石聡				
編集機関	今治市教育委員会				
所在地	〒794 - 8511 愛媛県今治市別宮町一丁目4-1 Tel. 0898 - 32 - 5200(代)				
発行年月日	西暦 2009年3月				

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
まつぎひろたいせき 松木広田遺跡	いまばりしまつぎ 今治市松木 243-1	38202		34° 02' 02"	133° 59' 36"	20070517 } 20070524	12.4㎡	個人住宅建設 (浄化槽)
きたむらはったんちいせき 喜田村八反地遺跡	いまばりきたむら 今治市喜田村 75-8	38202		34° 02' 34"	133° 01' 08"	20070726 } 20070815	126㎡	個人住宅建設
えんぎ1ごういせき 延喜1号遺跡	いまばりしえんぎ 今治市延喜 甲81-2	38202		34° 04' 21"	132° 57' 25"	20071022 } 20071109	18㎡	個人住宅建設 (擁壁)
あろうづぼんだいせき 有津番田遺跡	いまばりしはかたちょうあろうづ 今治市伯方町有津 甲1393-3	38202		34° 12' 29"	133° 05' 23"	20071126 } 20071219	130㎡	個人住宅建設
ごうさくらいほりいせき 郷桜井堀遺跡	いまばりしごうさくらい 今治市郷桜井1丁目 甲207-11	38202		34° 01' 16"	133° 01' 50"	20080225 } 20080226	4㎡	個人住宅建設 (浄化槽)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
松木広田遺跡	集落跡	弥生時代後期後半 ～古墳時代初頭	ピット	弥生土器・古式土師器・ガラス玉	松木広田遺跡の集落域北東端と考えられる。
喜田村八反地遺跡	集落跡	古墳時代後期 中世	井戸、溝、土坑、ピット	土師器・須恵器 瓦器	古墳時代後期のほぼ平行に並ぶ溝と、中世集落跡の一部を検出した。
延喜1号遺跡	集落跡	古代 中世	溝、ピット	土師器・須恵器・瓦器	赤色塗彩土師器のほか、僅かながら白磁などの搬入品も出土した。
有津番田遺跡	集落跡	弥生時代中期前葉	土坑、ピット	弥生土器 サヌカイト剥片	島嶼部の臨海遺跡の一部を検出した。
郷桜井堀遺跡	集落跡	中世	土坑、ピット	土師器・須恵器	中世集落の広がりを確認した。

要 約	<p>松木広田遺跡は、弥生時代終末から古墳時代初頭を中心とする今治平野の拠点的な集落である。今回の2次調査区は集落の中心部から遠ざかり、遺構遺物が希薄になりつつある集落域の北東端であると考えられた。</p> <p>喜田村八反地遺跡からは、古墳時代後期、中世の遺構遺物を出し、周辺一帯に遺跡の広がりが考えられるものであった。また包含層からは弥生時代後期、古墳時代前期の遺物も出土し、周辺には該期の生活跡の存在も考えられるものであった。</p> <p>延喜1号遺跡からは、4面の遺構面を確認し、主に古代、中世の遺構、遺物を出した。遺物はほとんどが小片であったが、古代では赤色塗彩土師器や焼塩土器、また中世では僅かながら常滑産甕や白磁など搬入品も出土した。</p> <p>有津番田遺跡は、瀬戸内海に浮ぶ伯方島で低丘陵間の緩斜面に位置する眺望のよい臨海遺跡で、遺構遺物とも希薄であったが、弥生時代中期前葉の集落跡の一部を検出した。</p> <p>郷桜井堀遺跡は、縄文時代晩期から中世まで断続的に営まれた集落遺跡である。今回の調査区は浄化槽設置部分の狭小な範囲であったが、主に中世の遺構遺物を出した。</p>
-----	---